

## 第47回 京町家まちづくりファンド委員会 議事録

日 時：令和4年3月24日（木）午後4時00分から午後5時30分まで

場 所：京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム2

（以下、敬称略）

出席委員：大場修／議長、島田昭彦、深尾昌峰、カルドネル島井佐枝、島村泰彰  
（全員オンライン出席）

欠席委員：浅井國勝

京都市都市計画局 まち再生・創造推進室：三原一男、井上彩（オンライン出席）

オブザーバー：1名（オンライン出席）

事務局：宮川、西尾、西井、長野／記録

議 題：令和4年度京町家まちづくりファンド改修助成事業について

報 告：令和4年度改修助成事業相談案件（非公開）

京町家まちづくりファンド改修助成事業の進捗状況について

京町家まちづくりファンド改修助成事業の普及啓発について

配布資料：次第、委員名簿、参考資料

議案書

資 料 1 令和4年度京町家まちづくりファンド改修助成事業募集要項（案）

資 料 2 令和4年度京町家まちづくりファンド改修助成事業募集チラシ（案）

報告資料1 令和4年度改修助成事業相談案件

報告資料2 京町家まちづくりファンド改修助成事業の進捗状況について

報告資料3 令和3年度京町家まちづくりファンド普及の取組状況について

### ◆事務局より委員会開催について

本日の委員会は全委員6名中5名の方にご出席いただき、ご欠席の1名の委員からは委任状をお預かりしているため、ファンド規程による定足数を満たしており、決議できることを報告する。

### ◆専務理事より挨拶

本日はご多忙な中、京町家まちづくりファンド委員会にご出席賜り御礼申し上げます。

今年度は改修助成事業として3件を選定し、それぞれ順調に工事が進行中である。コロナ禍の影響もあり、見学会を開催できていないが、情勢を見て来年度はぜひ開催したい。

また今年度の成果として、京町家まちづくりファンドWEBサイトのリニューアルが挙げられる。少しずつではあるが、寄附者の増加等につながっている。今後もこのWEBを活用し、継続して効果的な情報発信を行っていききたい。

本日は議案を1件、報告を3件予定しており、皆様の活発なご議論をお願い申し上げます。

## 議 題 令和4年度京町家まちづくりファンド改修助成事業について

### ◆議案の概要説明

事 務 局：資料1、2「令和4年度京町家まちづくりファンド改修助成事業の募集要項（案）・募集チラシ（案）」について、昨年度からの相違点に絞ってご説明する。募集要項・チラシ共に、昨年度からの変更は募集期間の年月日のみで、内容に関して変更はない。

議 長：従前通りの募集ということで、この原案の内容で承認する。

## 報告1 令和4年度改修助成事業について（非公開）

（事務局より令和4年度改修助成事業の相談状況が説明され、意見交換した）

## 報告2 京町家まちづくりファンド改修助成事業の進捗状況について

### ◆報告案件の概要説明

事 務 局：議案書の資料を用い、各案件の進捗状況を説明

### ◆意見交換

事 務 局：郭巨山町会所については、改修内容についてのセミナーや見学会を開催したいと考えている。

議 長：この改修は、竣工後に雑誌等で大きく取り上げられるはず。その際に、ファンドからの助成について触れていただけると、波及効果もあるはず。ぜひ主催してほしい。

委 員 A：三条会商店街の町家は、大屋根の上にパネルがあるように見えるが、商店街のルールで設置しているものか。

事 務 局：防火の関係で、アーケードと屋根の隙間を埋めるよう設置することが求められている。

議 長：商店街においてかなりインパクトのある改修となっていると思う。商店街の全景と合わせて、ぜひ改修前後が分かりやすいような形で発信してほしい。

## 報告3 令和3年度 京町家まちづくりファンド普及の取組状況について

### 令和4年度 京町家まちづくりファンド普及啓発について

### ◆報告案件の概要説明

事 務 局：議案書の資料を用い、各報告案件を説明

### ◆意見交換

議 長：WEBサイトのリニューアルは、非常に見やすくなって良かったと思う。外部からのリンクを貼ってもらい、アクセスを増やしていきたい。

委 員 B：これから横展開に力を入れていくべき。今回のリニューアルで、情報発信だけでなく読み物のコンテンツができたことで、WEBマガジ的な要素が増えた。今後は更に面白いコンテンツを発信することで話題性を高め、様々な方面からのアクセス数の増加を目指す。

議 長：完成したWEBサイトを活用し、育てていけるとよい。

委 員 B：京町家の保全・継承を呼びかけるための展覧会「MACHIYA VISION」を共催する

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭（以下 KG）は今年 10 年目となる、非常に発信力があるイベント。その発信力をお借りして、文化力や知的好奇心の高い来場者に京町家やファンドに関心を持ってもらい、WEB にアクセスしてもらえようような導線を設けられると効果も大きいのではないかと。

委員 C：KG のサイトからファンドの WEB に直接リンクが貼られているか。

事務局：MACHIYA VISION の特設サイトから貼ることになる。前回の開催時も、KG の発信力のおかげで、インタビュー映像を見た国内外の方々から、展覧会や教材で紹介される等の反響をいただいた。

委員 B：八竹庵はインフォメーションセンターであり、VIP パス等の受け渡しにも使われる拠点となる。ここでの展示は特に海外からの来場者も多いと思われるので、展示を見て終わるのではなく、QR 等を仕掛けて、展示の更に先まで踏み込んで寄附につながるような仕掛けを施しておくべき。

委員 C：寄附をする世代は、Instagram をやっている年齢層よりも少し上で、Facebook の利用者層が適しているのではないかと。Facebook はエリアや予算等、ターゲットを細かく設定して広告を出せるので、効果は見込めると思う。

委員 B：ファンドの存在を知らない人にアプローチする手段として効果的だと思う。

事務局：京町家等継承ネット事業の配信イベント開催時に、Facebook の広告を活用しており、京都だけでなく東京等の方々にもアプローチできた。これまで当財団に関わってくださっている方や周囲の方にはある程度情報を発信できていると思うが、課題はファンドを知らない、新たな寄附者の開拓である。

委員 C：東京を意識することは重要。京都で行うイベント等の多くも、資金は東京から調達していることが多いので、京都にとどまらず発信をしてほしい。

委員 B：外資系ブランド、メーカーの社長は京都や町家に興味を持ってきていることが多い。

議長：寄附を増やすためには、まず WEB にアクセスしてもらうことが重要だということが分かった。今後もぜひ様々な手段でアプローチを続けてほしい。

#### ◆事務局より閉会の挨拶

専務理事：長時間に渡り有意義なご議論をいただき感謝申し上げます。ファンドは、京町家の保全のために、その枠組みや制度を柔軟に変えながら対応していくことを目指す。本日も様々なご提案をいただいたが、前向きに検討していきたい。

事務局：次回の委員会については、今年 9 月に開催予定とする。

以上を持って、第 47 回京町家まちづくりファンド委員会を終了する。